

令和5年3月29日
更新 令和6年3月27日

平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した令和7年度
一橋大学入学者選抜における出題教科・科目等について（予告）

標記の令和7年度一橋大学入学者選抜については、次のとおりとします。

なお、内容については、今後修正が生じる場合がありますので、本学ウェブサイト
や令和7年度入学者選抜要項及び各選抜募集要項で必ず確認してください。

1 一般選抜（前期日程・後期日程）

（1）前期日程

学部・学科名	大学入学共通テスト（注1）			第2次試験（注2）	
	教科	グループ	科目等	教科等	科目等
商学部 （経営学科，商学科） 経済学部 （経済学科） 法学部 （法律学科） 社会学部 （社会学科）	国語	—	「国語」	国語	「現代の国語」「言語文化」
	地理歴史 公民	—	「地理総合，地理探究」 「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」 「公共，倫理」 「公共，政治・経済」 から2 ※ただし，「公共，倫理」と「公共，政治・経済」 の組合せを選択することはできません。	地理歴史	「地理総合，地理探究」 「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」から1
	数学	—	「数学Ⅰ，数学A」と 「数学Ⅱ，数学B，数学C」	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学A」（全範囲）・ 「数学B」（数列）・「数学C」（ベクトル）
	理科	—	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 ・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から1	—	—
	外国語	—	「英語」・「ドイツ語」・「フランス語」・「中国語」 ・「韓国語」から1 （英語は，リスニングを含みます。）	外国語	「英語」 （英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ） ※聞き取り・書き取り試験は行いません。
	情報	—	「情報Ⅰ」	—	—
ソーシャル・ データサイエンス学部 （ソーシャル・ データサイエンス学科）	国語	—	上記4学部と同じ	国語	上記4学部と同じ
	地理歴史 公民	—	「地理総合，地理探究」 「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」 「公共，倫理」 「公共，政治・経済」 から2又は1 ※ただし，「公共，倫理」と「公共，政治・経済」 の組合せを選択することはできません。 ※注1（2）参照	—	—
	数学	—	上記4学部と同じ	数学	上記4学部と同じ
	理科	—	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 又は 「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から1又は 2 ※注1（2）参照	—	—
	外国語	—	上記4学部と同じ	外国語	上記4学部と同じ
	情報	—	上記4学部と同じ	—	—
—	—	—	総合問題	社会において数理的なものの考え方を応用する力，情報技術の活用について自ら試行する姿勢を確認します。	

（注1）「大学入学共通テスト」欄

（1）旧教育課程履修者等については，以下の対応とします。

※「旧教育課程履修者等」とは，平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程以外を履修した者をいう。

（i）「地理総合，地理探究」・「歴史総合，日本史探究」・「歴史総合，世界史探究」・「公共，倫理」・「公共，政治・経済」に代えて「旧地理B」・「旧日本史B」・「旧世界史B」・「旧倫理，旧政治・経済」を利用することができます。

（ii）「数学Ⅰ，数学A」に代えて「旧数学Ⅰ・旧数学A」を，「数学Ⅱ，数学B，数学C」に代えて「旧数学Ⅱ・旧数学B」・「旧簿記・会計」・「旧情報関係基礎」を利用することができます。ただし，「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

（iii）「情報Ⅰ」に代えて「旧情報」を利用することができます。

(2) ソーシャル・データサイエンス学部における地理歴史・公民及び理科の選択パターンは以下の3種類となります。

- (ア) 地理歴史・公民から1科目＋「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から2科目
- (イ) 地理歴史・公民から2科目＋「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から1科目
- (ウ) 地理歴史・公民から2科目＋「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」

(注2) 「第2次試験」欄

- (1) 旧教育課程履修者等に対しては、出題する教科・科目の問題の内容によって配慮を行います。
- (2) 前期日程の第2次試験の外国語(英語)で実施していた「聞き取り・書き取り試験」については、令和7年度入学者選抜からは実施しません。

(2) 後期日程

学部・学科名	大学入学共通テスト(注1)			第2次試験(注2)	
	教科	グループ	科目等	教科	科目等
経済学部 (経済学科) ソーシャル・データサイエンス学部 (ソーシャル・データサイエンス学科)	国語	—	「国語」	—	—
	地理歴史 公民	—	「地理総合, 地理探究」 「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」 「公共, 倫理」 「公共, 政治・経済」 から1	—	—
	数学	—	「数学Ⅰ, 数学A」と 「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	数学	「数学Ⅰ」・「数学Ⅱ」・「数学Ⅲ」・ 「数学A」(全範囲)・「数学B」(数列)・ 「数学C」(ベクトル) (なお、「数学Ⅲ」を学習していない受験者が不利にならないように、選択問題を用いる等の十分な配慮をします。)
	理科	—	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」 ・「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から1	—	—
	外国語	—	「英語」・「ドイツ語」・「フランス語」・「中国語」 ・「韓国語」から1 (英語は、リスニングを含みます。)	外国語	「英語」 (英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ) ※聞き取り・書き取り試験は行いません。
	情報	—	「情報Ⅰ」	—	—

(注1) 「大学入学共通テスト」欄

- (1) 旧教育課程履修者等については、以下の対応とします。
 - ※「旧教育課程履修者等」とは、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程以外を履修した者をいう。
 - (i) 「地理総合, 地理探究」・「歴史総合, 日本史探究」・「歴史総合, 世界史探究」・「公共, 倫理」・「公共, 政治・経済」に代えて「旧地理B」・「旧日本史B」・「旧世界史B」・「旧倫理, 旧政治・経済」を利用することができます。
 - (ii) 「数学Ⅰ, 数学A」に代えて「旧数学Ⅰ・旧数学A」を、「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」に代えて「旧数学Ⅱ・旧数学B」・「旧簿記・会計」・「旧情報関係基礎」を利用することができます。ただし、「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 - (iii) 「情報Ⅰ」に代えて「旧情報」を利用することができます。

(注2) 「第2次試験」欄

- (1) 旧教育課程履修者等に対しては、出題する教科・科目の問題の内容によって配慮を行います。

2 学校推薦型選抜

(1) 大学入学共通テスト

学部・学科名	教科	グループ	科目等	受験科目数			
				第1欄		第2欄	
商学部 (経営学科, 商学科) 経済学部 (経済学科) 法学部 (法律学科) 社会学部 (社会学科) ソーシャル・ データサイエンス学部 (ソーシャル・ データサイエンス学科)	国語	—	「国語」	◎	1	◎	1
	地理歴史 公民	—	「地理総合, 地理探究」 「歴史総合, 日本史探究」 「歴史総合, 世界史探究」 「公共, 倫理」 「公共, 政治・経済」 ※ただし、「公共, 倫理」と「公共, 政治・経済」 の組合せを選択することはできません。	○ ○ ○ ○ ○	2	○ ○ ○ ○	1
	数学	①	「数学Ⅰ, 数学A」	◎	1	◎	1
			②	「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	◎	1	◎
	理科	—	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」	○	} から1	}	}
			「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	○ ○ ○ ○			
	外国語	—	「英語」(リスニングを含みます。) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	○ ○ ○ ○ ○	1	○ ○ ○ ○	1
	情報	—	「情報Ⅰ」	◎	1	◎	1

※1 ◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を意味し、○印は出願教科・科目区分欄ごとに、受験科目数欄に示す数だけ科目を選んで受験しなければならないことを意味します。

※2 第1欄と第2欄について

【商学部・経済学部・法学部・社会学部】

- 第1欄は、本学部が一般選抜(前期日程)において指定する教科・科目と一致しています。
- 第1欄の要件を満たさない入学志願者についてのみ、第2欄を適用します。したがって、地理歴史・公民から2科目を受験した者は、「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から2科目受験していても、第1欄が適用されます。
- 第1欄適用者が理科を2科目受験しているときは、第1解答科目(前半に受験した科目)の成績を用います。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

- 第1欄及び第2欄の両方の要件を満たす入学志願者については、得点が高い方の成績を用います。
- 第1欄適用の場合の得点は、理科を2科目受験しているときはそのうち得点が高い方の成績を用います。
- 第2欄適用の場合の得点は、地理歴史・公民を2科目受験しているときはそのうち得点が高い方の成績を用います。

※3 旧教育課程履修者等については、以下の対応とします。

※「旧教育課程履修者等」とは、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程以外を履修した者をいう。

(i) 「地理総合, 地理探究」・「歴史総合, 日本史探究」・「歴史総合, 世界史探究」・「公共, 倫理」・「公共, 政治・経済」に代えて「旧地理B」・「旧日本史B」・「旧世界史B」・「旧倫理, 旧政治・経済」を利用することができます。

(ii) 「数学Ⅰ, 数学A」に代えて「旧数学Ⅰ・旧数学A」を、「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」に代えて「旧数学Ⅱ・旧数学B」・「旧簿記・会計」・「旧情報関係基礎」を利用することができます。ただし、「旧簿記・会計」, 「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(iii) 「情報Ⅰ」に代えて「旧情報」を利用することができます。

(2) 第2次試験

- 推薦書, 調査書などの提出書類並びに小論文, 面接試験及び大学入学共通テストの成績により入学志願者の能力, 学習意欲, 適性等を総合的に判定します。
- 小論文は, 大きなテーマについて論じさせることにより, 構想力, 論理的思考力, 分析力, 表現力, 独創力などを多面的にみます。
- 面接は, 口頭試問を含む個別面接を行います。

3 外国学校出身者選抜

① 第1次選抜

学部・学科名	教科等	科目名等
商学部 (経営学科, 商学科) 経済学部 (経済学科)	外国語	「英語」 (英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ) ※聞き取り・書き取り試験は行いません。
法学部 (法律学科) 社会学部 (社会学科)	小論文	社会・文化に関する論文又は資料等を示して理解力, 判断力, 表現力などをみます。

② 第2次選抜：面接

※ 外国学校出身者選抜の第1次選抜の外国語（英語）で実施していた「聞き取り・書き取り試験」については、令和7年度入学者選抜からは実施しません。

4 私費外国人留学生選抜

学部・学科名	教科等	科目名等
商学部 (経営学科, 商学科)	日本語	社会・文化に関する論文等を示して, 日本語の作文力, 読解力などをみます。
経済学部 (経済学科) 法学部 (法律学科)	日本留学試験	日本語, 総合科目, 数学(コース1)
社会学部 (社会学科)	英語	TOEFL (iBT)